

安全運行を支える「獣キャッチャー」とは！？

皆さん、いつも記事をお読みいただき、ありがとうございます。日々、JR西日本の明石支所で207系や321系の車両メンテナンスをしているシュンです。

突然ですが、皆さんは駅のアナウンスなどで、「車両と動物が衝突」という内容のお知らせを聞いたことはありませんか？



ローカル線ではよく見かける風景

列車が動物と衝突するという事象は、都会では滅多に発生しませんが、ローカル線になると、1日で複数件発生することも珍しくありません。動物の種類としては、イノシシなどさまざまありますが、圧倒的にシカが多い印象です。

動物は安易に動かせないのです

列車と衝突した動物が線路内に留まっていた場合、運行に支障が出るため、移動させる必要があります。

ですが、線路内で倒れたり、死んでしまったりした動物を除去するのは、いろんな意味で大変です。野生の動物は細菌などの病原体を持っている恐れがあるので、血液には触れないようにする必要がありますし、力もいります。

そこで活躍するのが、JR西日本テクノスが考案した「獣キャッチャー」です。



使い方は簡単。先端がリング状になったワイヤーを動物の頭などに装着したら、あとは引っ張るだけです。

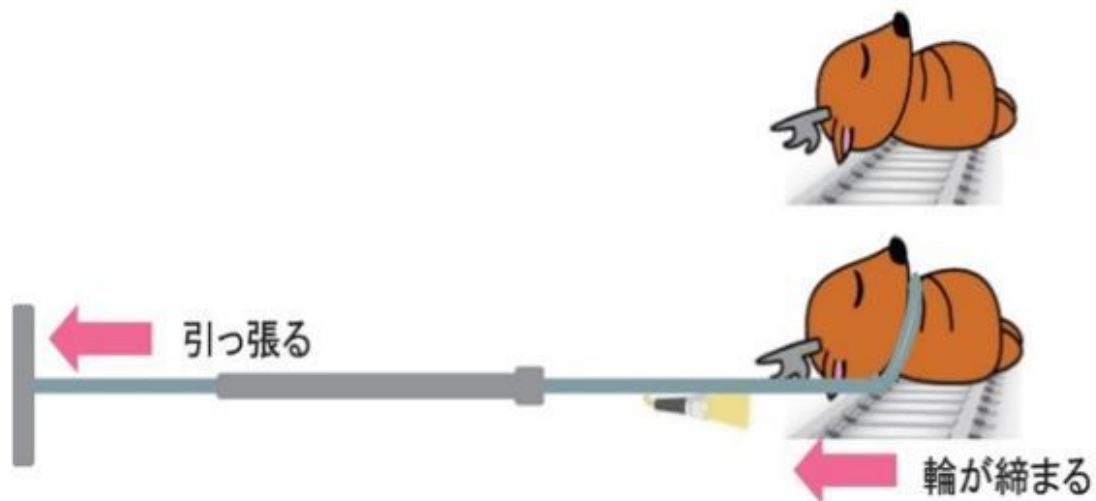


収納袋に入れた「獣キャッチャー」

「獣キャッチャー」は軽く、高さが約 800mm、幅が約 200mm、奥行きが約 70mm とコンパクトに収納できるため、持ち運びも容易にできます。



また、LED ライトが標準装備のため、夜間でも使用可能です。



この図は「獣キャッチャー」の使用イメージです。ワイヤーは、頭が一番かけやすいと思いますが、リング状の部分は大きさを変更できるので、状況に応じて使用します。

「獣キャッチャー」試してみた！

「獣キャッチャー」がどのくらい便利なのか、実際に試してみました。

続きは“鉄道専用”SNS「Railil（レイリル）」をご覧ください。

Raililの詳細とダウンロードは以下よりご確認くださいませ。

Railil: <http://www.jrw-inv.co.jp/business/railil/>